

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2024～2025年度 No.311

11月報

那須クラブ会長 主題

ユースと共に那須YMCAの活動を探る



強調月間：BF
iGO
STFP

今月の聖句 ヨハネによる福音書 17：21
父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内
にるように、すべての人を一つにしてください。彼らも
わたしの内いるようにしてください。そうすれば、世はあ
なたがわたしをお遣わしになったことを信じます。

11月第1例会（ユースリーダーとの交流会）

日時：11月20日（土）午後7時～8時50分

場所：日本基督教団西那須野教会

那須塩原市太夫塚 1丁目 232-438

電話 0287（46）5047

那須YMCAの活動はスタッフの関係で縮小された。
国際医療福祉大学生を中心とした、ユースリーダーの活
動は続いています。那須ワイズは、創立以来ユースリー
ダーとの協働が大きなウェイトを占めていました。しか
しながら、ここ10年ばかりの活動を振り返れば、ユース
との協働と言いながら、ほとんど参加を得ることがで
きないできました。一昨年よりユースとの話し合いを重
ねてきているところです。さらに大きく邁進をしたい。

司会 担当主事 武田 将吾

開会点鐘・挨拶・ゲスト・ビジター紹介 会長 村田 榮
ワイズソング斉唱

ワイズの信条の斉唱

聖書朗読・祈祷 西那須野教会 牧師 潘 炯旭
会食

ユースリーダーとの交流会

報告事項 YMCA・ワイズ

YMCAの歌

閉会挨拶・点鐘 会長 村田 榮

11月17日（月）出席いただける方は、村田まで連絡
をお願いします。メンバー会費 1,000円

食事は、西那須野教会の高久常姉、古川勢子姉のご協力。

2025～2026年度 主題

国際会長：(IP) エドワード・オン (シンガポール)

『信念、愛、行動』

アジア太平洋地域会長：(AP) 田上 正 (熊本むさしクラブ)

『信念と愛を持って行動しよう！』

東日本区理事 (RD)： 山下 真 (十勝クラブ)

『ワイズのらしさ再発見』

北東部長： 三田 庸平 (もりおかクラブ)

「ユースと共に明るい未来を」

クラブ役員

会長：村田 榮
副会長：田村 修也
書記：藤生 強
会計：鈴木 保江・村田 榮
担当主事：武田 将吾
ブリテン：田村 修也・村田 榮

10月例会データー（出席率：100%）

メンバー6名、メネット3名、ユースリーダー12名
協力者5名、(広義会員1名)
メイキャップ

11月 Happy Birthday

11/7 原田 明子メン

北東部評議会

日時：12月13日（土）（予定）

場所：

12月例会（クリスマス讃美礼拝・祝会）

日時：12月20日（土）午後6時～

場所：日本基督教団 西那須野教会

1月役員会（第2例会）

日時：12月11日（木）午後4時30分～

場所：田村副会長宅

子育て奮闘記たぶん21弾

もう、子育て奮闘記も20回を過ぎました。今年の11月には長男が21歳になりました。大学生活も後、1年半で終わってしまいます。いまだに朝は時間ぎりぎりまで寝ていてあわてて自動車で通学しています。自宅から40分ほどで行けるのでなんとのおんびりしているのか、時間に間に合うか毎回はらはらしています。

運転はいまだに車庫入れがうまくいかないようです。これからの雪道が心配です。バイトもせず、夜遅くまで友達と話しながらのゲームも相変わらずです。部屋は私に似て整理整頓ができず、ちらかっていてペットボトルが40本も出てきてびっくりです。もう少し、整理整頓ができるといいのですが、順調にいけば来春、東京での独り暮らしが待っているのですがなんとやら。やっと大人になってきたかと思いましたが、社会人になるまでまだまだ手がかかります。

次男坊、同じく11月誕生日なので17歳となりました。最近、少し勉強に頑張りがでて英語が全くできなかったところ少しわかるかもと言ってます。来年は受験生になるのももう少しです。数学は得意なのでそれなりです。勉強以外では写真部ですが、研修に参加させていただき写真の勉強をしてきたようです。多趣味で写真以外でも興味があるといろんなことに挑戦しています。友達と楽器を買いに行き、自分ではカリンバというアフリカ、ジンバブエの楽器を購入し、ときどき素敵な音色が聞えております。自分では人に影響されやすく広く浅くなんだと言っていますが、知識は邪魔になりません。これから、沖縄への修学旅行も控えています。長男はコロナのまただ中で修学旅行などでの思い出はありませんが、次男坊は自分なりに楽しんで参加し沖縄での武勇伝を待っています。

二人の性格が全く違いますが、自分のやりたいことをみつけていろいろ楽しんでおります。毎日が楽しく過ごせればいいですね。ちょっとした大人への成長がみられるときはうれしくなります。そんな二人の子供たちは、それぞれ今を生きています。



10月例会（アジア学院収穫感謝祭に参加）於：アジア学院広場 2025.10.18～19

10月例会(アジア学院の収穫感謝祭に参加) 報告

日時：10月18日(土)・19日(日) 9:00

場所：アジア学院広場

参加者：田村、藤生、鈴木、原田、武田、村田の各メン。田村、藤生、村田の各メネット、ユースリーダー11名、中村、田村コメットほか4名。

10月例会は、恒例の「アジア学院収穫感謝の日」へのブース参加でした。「アジア学院」は那須ワイズ活動エリアの中央部に位置し、那須ワイズそしてとちぎYMCAも昔から関りがあります。

昨年に引き続き2日開催となりました。1日目は半袖でも過ごしやすいくらいの晴れ間もある気候、2日目は少し肌寒い曇り空の気候でした。



私たちの様なブース参加団体、学生・社会人・シニアなどの多くのボランティア、そしてアジア学院生とアジア学院スタッフなど、たくさんの人たちが収穫感謝祭を祝いそして楽しみ、とても賑やかな2日となりました。

朝から夕方まで送迎用マイクロバスが運行しており、たくさんの来場者がありました。1日目は絶えることが無いくらい多くの来場者でしたが、2日目は日曜日のためか半分くらいの来場者でした。やはりキリスト教関係の方は日曜日に礼拝があるので土曜日に来るのかなと感じました。また、世の中はすっかり新型コロナが落ち着いた感があるためか、マスクをしている人はほとんどいませんでした。あの騒動は「まぼろし」だったのでしょうか。

那須ワイズのブースは例年同様、古着や小物などの「ミニバザー」を中心に行いました。今年はアジア学院直営のバザーコーナーは行われなかったため本来であればそこで販売するはずだった品物もワイズブースにて合わせて販売を行いました。ブースの位置が会場入口近くにあるのも功を奏してか、「ミニバザー」には外国の方(アジア学院は国際色豊かです)も日本の方も、多くの方が来店し、古着も小物もかなりの数が売れていました。



その他に、収益をユース支援としている「しいたけ昆布」、「リンゴ」、メンバー宅で収穫した「ジャガイモ」や「お米」、小さくて可愛い「おもちゃかぼちゃ(ミニカボチャ)」、メンバーが収集していた「記念切手」などの販売も合わせて行いました。

また2日目は那須YMCAと宇都宮YMCAのボランティアリーダー11名も参加し、リーダー主体の「射的コーナー」、そしてミニバザーなどのお手伝いを行いました。2日目は来場者が少なかったため、(準備をしっかりとしたのに)少し物足りなかったかもしれません。それでも初めてアジア学院と関わった体験は大きな財産になったものと思います。収穫祭は、来場者も参加者も思い思いに楽しんでいる様子が伺えました。来場される方々はアジア学院の収穫祭を本当に楽しみにしており、そしてアジア学院を支えたいと願っている方々だと感じました。そのアジア学院をワイズとして微力ながら支えていることに誇りを感じました。来年も多くの参加者で溢れることを祈ります。

バザーの収益金、70,000円をアジア学院へ献金させていただきました。感謝です。

第2例会(役員会) 報告

日時：11月7日(金) 午後4時30分～

場所：田村副会長宅、

出席者：田村、村田各メン、田村、村田メネット

1. 11月例会について

11月20日(木)に行う。場所は、日本基督教団西那須野教会。リーダーとの懇談会。時間は、午後7時からとし、8時50分日は終了する。司会は、武田将吾担当主事に依頼。食事は、西那須野教会の高久姉と古川姉に依頼する。食事の内容は、カレー、サラダ、デザート。お米、ジャガイモ、玉ねぎは村田。デザートの柿は、田村。会費は1,000円。ゲストに、潘牧師ご夫妻、中村さん、飯沼兄、木村兄。出席者の確認は、村田が行う。できるだけ、後

片付けが簡単になるようにする。

2. 12月例会について

12月20日(土)に日本基督教団西那須野教会にて、パイプオルガンによる讃美礼拝、祝会を行う。お話は、潘牧師、奏楽は、木村真喜子姉に依頼。養徳園の案内は、田村副会長に依頼。食事の準備は、田村有希子姉に依頼。ゲストに養徳園の人たち、ユースリーダー、中村さん、ギデオン協会、西那須野教会員他歓迎する。養徳園へのプレゼントは、ミカン2箱。プログラムは、リーダーによるゲームを依頼する。

3. 1月例会について

1月17日(土)、午前11時30分～、龍鳳園で行う。場所の予約は、田村姉に依頼。招待者としては、潘牧師ご夫妻、中村さん、リーダー、その他お世話になっている方々。

4. ユースリーダーへの支援金について

スキーキャンプに向けてのリートレに関して、20,000円の依頼があり、承認する。

5. 原田明子会員の広義会員としての申請について本部に対して申請を行う。承認

6. 12月第2例会の開催について

11月20日(土)の例会前午後6時より行う。

7. 2月例会について

リーダーの報告会とし、卒業リーダーへの記念品贈呈を行う。日程は、リーダーの都合に合わせる。

開拓と信仰の姿「開拓と西那須野教会」(13)

副会長 田村 修也

弥三郎の次男の真澄さんは、13歳で弥三郎、董と共に開拓に入ったのですが、明治36年11月、栃木県海外移住者第1号として、アメリカに参りました。26歳のことです。アメリカに渡ってからさまざまな仕事でご苦労されながら、ロサンゼルスでホテルを開業して成功し、日本からの旅行者に対して多くの便宜を図られたということです。昭和31年の教会移築に際しては1000ドルの献金をもって母教会を支援しています。また、昭和38年に西那須野幼稚園ホールの建設に際しましても、真澄さんは百万円の寄附を寄せて頂き、幼稚園ではこのホールを田嶋真澄記念ホールと銘々して改築後の今も、ホール舞台正面左壁面に当時の真澄さんの写真が飾られています。写真資料があり昭和37年頃とありますが、これは昭和36年10月22日に行われた、教会創立70周年記念礼拝出席の為帰国された時に撮られた董・真澄兄弟でのツーショットではないかと思ひます。なお集合写真の前列左から元渡辺農場農場長岩本末吉氏の2代目岩本武次郎さん、大田原

市役所や鶯谷公園、図書館等の敷地を提供された方です。その次が真澄さん、董さん、武藤健先生、渡辺教育長、福本牧師と長男光夫さん、矢板教会鈴木牧師、杉山千波さんです。福本牧師の項目でと思いましたが、ついでですから説明しますと、二列目は左から那須農畜産の仁木先生、阿久津さん、田嶋篤次さん、高瀬さん、田嶋綏之さん、間は西沢健太君、江連さん、杉山夫人、安富さん、久保木さん、3段目、左から幼稚園教師の窪田さん、村上さん、村上さん、武藤さん、西沢夫人、鈴木君、西沢さん、野百合さんと光子先生、私、上段左から北村君、大平君、千本木君です。懐かしい写真です。

三男の堅固さんは、牧師として献身し、東北学院大学神学部を卒業され、アメリカに渡り、日本人教会の牧師として牧会に当たっておられました。宣教という機関紙を発行されていて、西那須野教会にも定期的に送られてきていました。次女のさきさんは、内藤牧師と結婚して伝道者のために内助の労を尽くしてきております。

長男董さんの七男の正人さんも献身して、各地の教会で奉仕して戦後大半を名古屋中央教会の主任牧師として、奉仕してきました。正人牧師の長女牧子さんも西村牧師に嫁いで、伝道者の家庭の伝統を受け継いでおります。

正人牧師は、弥三郎の長男、董さんについて、「父は、多忙な公的な役職に任ぜられつつ、教会への御奉仕は晩年に至るまで、主イエス・キリストの忠実なる僕として、教会に仕え奉仕なさいました。」そして、田嶋家の信仰の継承については、「永年に渡って、田嶋家は『信仰の継承』を果たして来られました。この事は、見えざる真実なる唯一の田嶋家の遺産と存じます。目に見えない世界、キリストの存在を大切になさった遺業を、私共は次の世代にも伝承せねばならないでしょう。責務と存じます。『草は枯れ、花は散る。されど主の御言葉は永遠に保つ』イザヤ書40章8節の預言は、今尚私共の心にひびき続けます」と述べておられます。(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

認定こども園 西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光夫

「(前略)嗚呼 全てを賭けて描く

自分にしか出せない色で

朝も夜も走り続け 見つけ出した青い光

好きなものと向き合うこと

今だって怖いことだけど

もう今はあの日の透明な僕じゃない

嗚呼 ありのままの かけがえの無い僕だ(後略)
(「群青」作詞 Ayase)

お風呂でタブレットを使って YouTube を観ていたところ、右手の親指が滑って画面を誤ってタッチし、偶然にも YOASOBI の「群青」を May J さんと藤咲碧羽さんがカバーした動画が流れました。そのまま視聴してみますと、とても印象的な曲でしたので、次に画面の歌詞に注目しながらもう一度聴いてみました。

子ども向けの歌ではありませんが、その歌詞の一部には、乳幼児期の遊びの積み重ねによって育まれる非認知能力や自己有用感の形成を思わせるものがあります。冒頭に引用した部分に加えて、

「嗚呼 何枚でも ほら何枚でも
自信がないから描いてきたんだよ
嗚呼 何回でも ほら何回でも
積み上げてきたことが武器になる
周りを見たって 誰と比べたって 僕にしか できないことはなんだ」
という歌詞にも、同じような印象を受けました。

「好きなものと向き合うこと」、それは子どもにとって「遊び」です。

園庭で、そしてクラスで、子ども達は今日も、遊びの中で自分自身と向き合いながら、将来にわたって生きる力の基盤となるものを積み重ねています。その姿はまさに、「群青」という歌の世界と重なるように感じます。

YOASOBI の「群青」にある「自分にしか出せない色で」という言葉には、聖書の「わたしたちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っていますから」(ローマの信徒への手紙 12 章 6 節)という御言葉が重なります。

神様は一人ひとりに異なる光を与え、その光を通して世界を照らすよう招いておられます。

子ども達が遊びのなかで自分の“青い光”を見つけていく姿を通して、私たちは神様の働きを見出します。

聖園那須老人ホームたより

社会福祉法人 イースタービレッジ
那須聖園老人ホーム

施設長 薄井 高宏

冬が間近に迫り、干し柿が軒下に揺れる今日この頃、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

インフルエンザが栃木県内でも猛威を振るい、県北でも小中高校では学級、学校閉鎖まで起きており

ます。施設でも先月、新型コロナウイルス、今月はインフルエンザの予防接種が行われ、日常から予防策を講じておりますが、いつかかってしまってもおかしくない増加量に戦々恐々としています。

よく施設や病院での勘違いで、入所や入院してしまえば、外部との接触がないので、感染症にかかるはずがないと思い込んでしまう方もいますが、残念ながら施設では、通院を始め、外部との接触を完全に断つような事はできませんから(身体拘束や虐待に類してしまう可能性があります)、一概に「職員が持ち込んだに決まっている」という事はできません(判例でも、因果関係を立証出来ないとされています)。

同様に、介護のプロに任せただけだから、転倒や転落、事故が起こるはずがないと思い込んでしまう方がいます。しかし、実態としては、いくら寝たきりの方でも、身じろぎ一つ出来ない方は希ですので、転落の危険性が 100%ないと言い切る事はできません。もちろん、施設側に過失がある事もありますから、十分な説明を施設が行う事は必要と考えます。

このように、問題は世間一般の方々の期待値と施設の実態が乖離している事が挙げられると思います。このすれ違いが大きくなると、不信感から訴訟となってしまうようです。この差を埋めるためには、双方に知る努力と知らせる努力が必要ですので、私達も努力を怠らず施設運営に邁進していきたいと思えます。

タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活する中で、様々な場面で使い切りの布(タオル)を使用しています。つきましては、皆様には、タオルの寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、タオルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問いません。
- ・切断や洗濯、消毒はこちらで行います。

新しい施設に建替わるにあたり

聖園那須老人ホームでは、新しく個人契約入所を開始したいと思います。この制度は、生活にお困りの方々に住宅を供給する観点からのサービスで、措置入所で必要な条件や入所判定委員会の意見、市町の決定がなくても施設と入所を希望する方との契約で入所できるサービスです。契約にもいくつかの条件や料金の違い、サービスにも違いがありますので、ご興味のある方は、下記連絡先までお問い合わせください。また、新築にあたり、ご寄付も募っておりますので併せてご連絡ください。

YMCAだより

【第56回全国YMCAリーダー研修会】

10月11日～13日にかけて全国リーダー研修会が行われ、とちぎYMCAからは2名のリーダーが参加しました！今年は大阪YMCAのYMCA阿南国際海洋センター（徳島）という海と緑に囲まれた素敵なキャンプ場にて、「Set sail～心に帆を掲げて」というテーマのもと全国のリーダーと2泊3日を過ごしました。「Well-being」をキーワードにして2度の基調講演を経て「自分にとってのウェルビーイングとは？」「それは子どもにどんな影響があるのか？」を考えていきました。全国にはたくさんのリーダーがいますが、根底にある子どもに対する気持ちはどのリーダーも同じでした。この研修会で感じたたくさんの想いをとちぎに持ち帰ってどんどん広げていきます！



【アジア学院収穫感謝の日バザー】

10月19日(日)アジア学院でのバザーにユースリーダーが出店しました！当日は11名のリーダーで射的を出店し、大盛り上がりとなりました。また那須ワイズメンズクラブの出店のお手伝いを通して、リーダーにとって多くの方々と関わる事ができた日となりました。様々な国の文化にも触れ、多世代・多文化交流をすることができました。イベントを通して、子どもから大人まで多くの方が笑顔になる機会でした。



【とちぎYMCA・那須YMCAの11月の予定】

- ・11/3（祝月）みんなでワイ・Yさくらんぼ幼稚園バザー2025
- ・11/15（土）-16（日）とちぎY野外クラブ（小学生）11月活動〈山の生活キャンプ〉
- ・11/23（日）Yキッズ11月活動〈ピザ作り〉
- ・11/29（土）-30（日）とちぎYMCAリーダーズキャンプ

ユースリーダーのつぶやき

- ①本名（リーダー名）②学校名 学部なども
- ③出身地④YMCAに入ったきっかけ⑤思い出に残った活動とその理由は？⑥今後の進路は？
- ⑦YMCAに一言



- ①廣瀬未来（マミー）
- ②茨城県立医療大学 保健医療学部 理学療法学科
- ③茨城県 筑西市
- ④先輩に誘っていただいたことがきっかけで、子どもたちと関わるボラン

ティア活動に魅力を感じたからです。

⑤ふくしま湖畔キャンプ

リーダーになって初めてのキャンプで不安や緊張もありましたが、2泊3日という限られた時間の中で、子どもたちと濃く深い時間を過ごすことができたからです。

⑥できなかったことができるようになる喜びを分かち合い、患者さんを笑顔にできる理学療法士になりたいです。

⑦いつもたくさんの笑顔と出会いをくれるYMCAは私にとって大切な存在です。これからもさまざまな活動を通して子どもたちと関わり、みんなで楽しい活動を作っていきたいです！